

目的

高校卒業後または福祉系大学等に進学・卒業後に、福祉・介護の仕事を目指している高校生や介護等の仕事に興味を持っている高校生を対象に、介護技術コンテスト、パネルディスカッションをととして福祉・介護の仕事の魅力を伝える。

事業内容

○高校生介護技術コンテスト共催「高校生福祉セミナー」※令和6年度内容

- ・高校生介護技術コンテスト 出場及び見学
- ・パネルディスカッション

「福祉の仕事の多様性と求められる役割」～先輩方からのメッセージ～

趣旨：介護職に務めると、どういう未来がたどれるのかロールモデルを示し、福祉・介護の魅力や広がりを伝えるとともに、高校生に、夢や希望を膨らませていただく。

- ・パネリスト：介護保険施設 新人職員、中間管理職、施設長
- ・福祉人材センター、介護福祉士修学資金制度等の説明

【共催】 佐賀県高等学校教育研究会福祉部会
西九州大学健康福祉学部社会福祉学科



事業効果

- ・介護技術コンテストにおける、出場している高校生の真摯に介護に向き合う姿は、セミナー参加の高校生間で共有され、先輩や他校の同級生が福祉を学び探求する姿に、参加の高校生も続いていくという好循環が生まれ、福祉介護人材確保の一助となっている。また、コンテスト応援の保護者・教員の参加も多く、若い世代を取り巻く方々（大人）への福祉の仕事の啓発・情報発信の場となっている。
- ・パネルディスカッションにおいては、福祉や介護を学び、どのような将来があるのか、業務や仕事の使命、魅力ややりがい、福祉の仕事の多様性などを具体的に伝え、共に考える場を設けたことで、福祉や介護業界を目指す、または、考えている高校生の今後の人生や将来に活かすうえで、効果的なセミナーとなっている。